



福祉施設対策委員会 ニューズ

No2011-07
2012年
5月1日

各単組
の取組

児童養護施設

赤十字子供の家

その1 私は、赤十字子供の家で洗濯清掃のパートとして働いています。

居室の子供たちの使うトイレの清掃もしているのですが、子どものトイレは洋式で、便座は暖房になっていません。冬でも冷たい便座に腰掛けなければならない子供たちのために、せめて、カバーがあればと思っていました。

そんなある日、他の居室職員も同じ思いだったと知り、組合員会議で話したところ、さっそく、執行委員長が運営委員会で提案して、便座カバーがつけられるようになり、ほっとしています。

これからも、何よりも子どもたちのために働き続けていきたいと思っています。

その2 赤十字子供の家の建物は築30年経っており、老朽化しています。また、建築当初の建設会社の杜撰な工事のせいで2階の汚水が逆流して天井から漏ってくる所もあり職員達の中では建て替えて欲しいという声が出ています。

そんな中、敷地内に有る日赤武蔵野病院でリニヤック棟を建てるため、日照権の問題で、「子供の家を武蔵野村(子供の家、病院、血液センターなど日赤施設が建っている敷地)の中で移動して建て替えたい」という話が3月22日に正式に支部から出て来ました。

子供の家では、近い将来園舎を建て替える為、他の養護施設や乳児院の見学をしています。家庭的な建物が出来る様に今から準備しています。救急車の音がうるさくない環境、最低限今の面積以上の土地であること等を望んでいます。

組合としては、多くの職員からの意見を充分聞いて建て替えをするよう要求しています。

学習会のお知らせ

第24回医労連「障がい者・児童福祉労組の全国交流集会」

日時 2012年6月3日(日) 13:00~17:00

場所 医療労働会館

内容 ・記念講演「子どもの貧困と福祉労働者に期待するもの」

講師：浅井 春夫氏・予定(立教大学教授)

- ・基調報告
- ・各組合での取り組みの報告と交流
- ・医労連共済の紹介、活用の訴え



※6月は大手前整肢学園の紹介を予定しています。